



2026年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社 アルメディオ
コード番号 7859 URL <https://www.almedio.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 靖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・情報開示・IR担当 (氏名) 関 清美 TEL 042-511-0500

定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	2,372	59.1	825		786		470	
2025年3月期	5,800	49.8	867	74.2	877	74.5	476	79.5

(注) 包括利益 2026年3月期 301百万円 (%) 2025年3月期 853百万円 (64.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	23.47		5.8	8.7	34.8
2025年3月期	23.07		6.0	9.0	14.9

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 百万円 2025年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	8,444	7,904	93.6	394.53
2025年3月期	9,689	8,206	84.7	409.59

(参考) 自己資本 2026年3月期 7,904百万円 2025年3月期 8,206百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	468	712	366	3,280
2025年3月期	866	698	76	3,841

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期		0.00		0.00	0.00			
2026年3月期		0.00		4.50	4.50	90		1.1
2027年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

(注) 2026年3月期期末配当金の内訳 普通配当 0円00銭 記念配当 4円50銭

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,943	24.1	163		137		164		8.20

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	20,806,316 株	2025年3月期	20,806,316 株
期末自己株式数	2026年3月期	770,737 株	2025年3月期	770,737 株
期中平均株式数	2026年3月期	20,035,579 株	2025年3月期	20,648,970 株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日 ~ 2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	588	56.2	405		0		27	
2025年3月期	1,344	12.2	98		23		78	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	1.37	
2025年3月期	3.81	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	4,879	4,563	93.5	227.75
2025年3月期	4,944	4,590	92.8	229.13

(参考) 自己資本 2026年3月期 4,563百万円 2025年3月期 4,590百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

決算補足説明資料関係

・当該補足説明資料は、Financial Data Bookとして当社ウェブサイト(<https://www.almedio.co.jp/>)のIRニュースに掲載いたします。Financial Data Bookには、事業別売上高ほか業績推移等をまとめております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における、当社グループを取り巻く環境は、地政学リスク、米国の通商政策の影響、それに伴う世界経済への影響等、先行き不透明な状況が続きました。

このような中、当社グループは、2028年3月期を最終年度とする3ヶ年計画「中期経営計画2025」に基づき、断熱材事業、ナノマテリアル事業を軸に、第三の事業とすべくCMC（セラミックマトリックス複合材）のマーケティングを進め、機能性材料メーカーの確立を図るべく、計画に沿った施策に取り組んでまいりました。

断熱材事業については、連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司及び阿爾美（蘇州）科技有限公司において、太陽光発電パネル製造向け拡散炉用ヒーターモジュール等の受注数の減少や、販売価格の下落により、前年同期の売上高を下回りました。

ナノマテリアル事業については、CNF（カーボンナノファイバー）の新製品の販売や各種用途に適した製品の提案により評価していただく業種は拡大しており、特に導電用CNF（高分散）において、顧客での高い評価を得ました。また、資源・材料販売が順調に推移したことにより、前年同期の売上高を上回りました。

CMCを手がけている事業企画室については、データの分析・蓄積・サンプル出荷を行い、防衛関連産業企業と接触を図りCMCのマーケティングを進めました。

この結果、当社グループの当連結会計年度の経営成績は、売上高2,372百万円（前年同期比59.1%減）となりました。利益面は、営業損失825百万円（前年同期は営業利益867百万円）、経常損失786百万円（前年同期は経常利益877百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失470百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益476百万円）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、2024年6月末日をもって光学ドライブ生産及び関連サービスを終了したアーカイブ事業の報告セグメントを廃止しております。

断熱材事業

当事業は、連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司及び阿爾美（蘇州）科技有限公司において、電子部品用副資材、耐火材料及び関連製品の開発・製造・販売を行っております。また、当社でも同社製品を中心とした輸入販売を行っております。

国内は、ブランケットやブロック等の炉材、ボードや成型品の販売が増加し、更に、前期に開拓した新たな商流での売上が拡大しました。また、工業炉の新設工事案件等を受注した一方で、見込んでいた大型炉修案件が顧客側の計画変更により延期となり、結果として、前年同期の売上高及び当期の計画を下回りました。なお、翌期より建材業界に参入すべく、建材副資材において不燃材料区分での建築基準法に基づく構造方法等の認定（大臣認定）を取得しました。

連結子会社は、中国市場での太陽光発電パネル製造向け拡散炉用ヒーターモジュール等の受注数の減少に加え、販売価格の下落と原材料の高騰により収益が圧迫され、売上・利益共に減少し、前年同期の売上高及び当期の計画を下回りました。このような状況の改善を図るべく、原材料の内製化や、阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司の一部の機能を阿爾美（蘇州）科技有限公司に集約する等、損益分岐点を下げる施策を追加実施しましたが、初年度における効果は限定的となりました。また、新製品として、半導体用アルミナ粒子、SiO₂、MLCC焼成用セラミックラック、プラズマZrO₂コートNiメッシュ等の生産と販売を開始し、新製品の販路拡大による収益確保に取り組みました。

以上により、断熱材事業の売上高は2,272百万円（前年同期比56.1%減）となりました。

ナノマテリアル事業

当事業は、ナノマテリアルの研究開発・製造及び販売を行っており、ナノサイズの繊維状炭素を製品化しております。また、資源・材料販売を行っております。

CNFは、製品及び有償でのサンプル品の販売を行い、国内外共に評価していただく業種は拡大しております。導電用CNF（高分散）は、顧客での高い評価を得ており、半導体用途では採用に向け進行し、電池用途では継続して評価を行っております。また、コンポジット成形品は継続的に受注しています。資源・材料販売は、受注件数が増加し順調に推移しましたが、当期本格採用を見込んでいた案件のうち2件は、顧客側の生産計画の変更により翌期の採用見通しとなったため、当期の計画を下回りました。なお、CNFにおいて2件の特許を取得、資源・材料販売においては脱中国材料の開拓を進めるとともに、本格採用に備え欧州REACH規則の登録、及びISO9001認証への追加登録を行いました。

以上により、ナノマテリアル事業の売上高は100百万円（前年同期比40.9%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて19.2%減少し、6,071百万円となりました。これは、主として断熱材事業の販売減少による受取手形、現金及び預金、売掛金の減少等によるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて9.1%増加し、2,372百万円となりました。これは、主として連結子会社・阿爾美(蘇州)科技有限公司での設備投資による機械装置及び運搬具の増加等によるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて54.3%減少し、463百万円となりました。これは、主として短期借入金、未払法人税等、前受金、その他の未払金の減少等によるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて83.8%減少し、75百万円となりました。これは、主として繰延税金負債の減少等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて3.7%減少し、7,904百万円となりました。これは、主として為替換算調整勘定の増加、親会社株主に帰属する当期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは468百万円(前年同期比45.9%減)となりました。これは、主として税金等調整前当期純損失の計上及び売上債権の増加、棚卸資産の減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは△712百万円(前連結会計年度は△698百万円)となりました。これは、主として定期預金の預入の増加、事業用資産である有形固定資産の取得の減少等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは△366百万円(前連結会計年度は△76百万円)となりました。これは、主として短期借入金の減少、自己株式の取得を行わなかったことによるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は3,280百万円(前年同期比14.6%減)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率	62.7	58.2	77.4	84.7	93.6
時価ベースの自己資本比率	64.1	124.5	223.6	60.2	72.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	△269.8	176.9	18.8	62.9	38.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ	△86.1	76.3	380.5	108.7	68.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※ キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、中国市場で原材料コスト高騰や販売価格競争が続く中、米中関係改善の行方や中東地域の紛争の影響等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続くと予測されます。

当社グループは、2026年5月14日付で公表した「中期経営計画2026の実施について」に基づき、断熱材事業、ナノマテリアル事業に加え、第三の事業とすべくCMCのマーケティングを進め、機能性材料メーカーの確立を図ります。また、各事業の成長により利益の最大化を図り、ROE8%以上、PBR1倍以上を維持し2倍以上を目指します。

断熱材事業は、売上拡大と収益向上を図ります。具体的には、当社においては、鉄鋼メーカーの炉材定期調達先としての地位確立、鉄鋼メーカー、炉メーカー等の新規顧客の獲得を行います。また、建材副資材において、不燃材料区分での建築基準法に基づく構造方法等の認定（大臣認定）を取得したことにより、建材（耐火）業界に参入し、建材業界での販売を開始するなど、新規商材での他業界参入と商流確立に向けた販売活動、及び断熱用途外や設備機器の製品販売により販路拡大を図ります。連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司及び阿爾美（蘇州）科技有限公司においては、引き続き損益分岐点を引き下げる施策に取り組み、更に、中国市場の景気回復速度を注視しつつ両連結子会社の集約を推進します。拡大する市場と併せて、過当競争とならない長期にわたり持続する市場をターゲットとした更なる高付加価値製品の開発と営業活動を強化し、持続的な成長と収益の確保に取り組みます。市場での評価が良好である半導体用アルミナ粒子・SiO₂の量産、及び販売が好調なセラミックラック、プラズマZrO₂コートNiメッシュ等の生産能力の向上と売上拡大を図り、原材料の内製化や歩留まりの改善を進め、収益力を高めます。

ナノマテリアル事業は、採用獲得と売上拡大を図ります。具体的には、CNF及び資源・材料販売の重要顧客のテーマに対して採用獲得のための顧客対応力を強化します。また、確実に本格採用を獲得するための顧客対応、新規材料での新規顧客獲得に向けた取り組み、海外顧客に対しては継続的にCNF評価及び採用に向けた顧客ニーズへの対応と検証作業の加速を推進し、新規顧客の開拓、海外展開を行います。更に、超高導電CNFの開発、高分散CNSF（カーボンナノショートファイバー）の適用拡大、資源・材料販売において更なる調達先の多角化を進め、製品ラインナップの拡充を図ります。

以上により、当社グループの次期見通しは、通期において売上高2,943百万円（前年同期比24.1%増）、営業損失163百万円（前年同期は営業損失825百万円）、経常損失137百万円（前年同期は経常損失786百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失164百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失470百万円）を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、2017年3月期から2026年3月期までの個別業績において、10期連続の営業損失を計上しております。

これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。

しかしながら、当該事象又は状況を解消し、又は改善するための対応策として、「中期経営計画2026」を策定し、これを反映した事業計画に基づく翌事業年度の資金計画による評価を実施した結果、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,100,312	3,765,646
受取手形	1,182,411	434,136
売掛金	1,333,278	1,065,032
商品及び製品	311,321	281,601
仕掛品	109,159	89,386
原材料及び貯蔵品	242,928	220,989
その他	235,730	229,910
貸倒引当金	△347	△15,298
流動資産合計	7,514,795	6,071,405
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,183,867	1,253,955
減価償却累計額	△231,436	△301,748
減損損失累計額	△151,087	△154,858
建物及び構築物(純額)	801,343	797,348
機械装置及び運搬具	1,682,819	1,999,405
減価償却累計額	△499,094	△597,279
減損損失累計額	△135,957	△148,732
機械装置及び運搬具(純額)	1,047,767	1,253,394
その他	181,358	206,665
減価償却累計額	△48,301	△60,439
減損損失累計額	△35,424	△50,352
その他(純額)	97,632	95,874
有形固定資産合計	1,946,743	2,146,616
無形固定資産		
その他	3,418	413
無形固定資産合計	3,418	413
投資その他の資産		
その他	224,640	225,757
投資その他の資産合計	224,640	225,757
固定資産合計	2,174,802	2,372,787
資産合計	9,689,598	8,444,192

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	116,513	109,665
短期借入金	500,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	16,008	16,008
未払法人税等	85,279	14,554
前受金	55,517	22,732
賞与引当金	79,735	53,684
その他	161,629	97,025
流動負債合計	1,014,682	463,670
固定負債		
長期借入金	29,308	13,300
退職給付に係る負債	46,907	46,894
繰延税金負債	392,312	15,769
固定負債合計	468,528	75,964
負債合計	1,483,210	539,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,111,382	2,111,382
資本剰余金	2,064,762	2,064,762
利益剰余金	3,674,743	3,204,442
自己株式	△286,233	△286,233
株主資本合計	7,564,654	7,094,353
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	641,732	810,203
その他の包括利益累計額合計	641,732	810,203
純資産合計	8,206,387	7,904,557
負債純資産合計	9,689,598	8,444,192

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月 1日 至 2026年3月31日)
売上高	5,800,748	2,372,446
売上原価	3,689,492	1,841,886
売上総利益	2,111,255	530,559
販売費及び一般管理費	1,244,118	1,356,201
営業利益又は営業損失(△)	867,137	△825,641
営業外収益		
受取利息	5,562	9,063
受取配当金	408	298
為替差益	4,696	25,609
助成金収入	10,169	5,452
物品売却収入	3,062	7,522
その他	2,354	5,153
営業外収益合計	26,254	53,099
営業外費用		
支払利息	7,767	6,892
株式交付費	1,484	—
手形売却損	3,604	6,926
その他	3,368	201
営業外費用合計	16,225	14,021
経常利益又は経常損失(△)	877,166	△786,563
特別利益		
固定資産売却益	929	2,082
補助金収入	31,297	6,538
特別利益合計	32,227	8,620
特別損失		
固定資産売却損	—	32,155
固定資産圧縮損	19,179	1,506
事業撤退損	43,272	—
減損損失	40,768	31,665
特別損失合計	103,221	65,328
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	806,171	△843,270
法人税、住民税及び事業税	289,270	5,482
法人税等還付税額	△21,050	△1,909
法人税等調整額	61,552	△376,543
法人税等合計	329,772	△372,970
当期純利益又は当期純損失(△)	476,399	△470,300
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	476,399	△470,300

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月 1日 至 2026年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	476,399	△470,300
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	376,677	168,470
その他の包括利益合計	376,677	168,470
包括利益	853,076	△301,829
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	853,076	△301,829
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,111,382	2,064,762	3,198,343	△88,785	7,285,703
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			476,399		476,399
自己株式の取得				△197,448	△197,448
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	476,399	△197,448	278,951
当期末残高	2,111,382	2,064,762	3,674,743	△286,233	7,564,654

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	265,055	265,055	810	7,551,568
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				476,399
自己株式の取得				△197,448
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	376,677	376,677	△810	375,867
当期変動額合計	376,677	376,677	△810	654,818
当期末残高	641,732	641,732	—	8,206,387

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,111,382	2,064,762	3,674,743	△286,233	7,564,654
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			△470,300		△470,300
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△470,300	—	△470,300
当期末残高	2,111,382	2,064,762	3,204,442	△286,233	7,094,353

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	641,732	641,732	8,206,387
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			△470,300
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	168,470	168,470	168,470
当期変動額合計	168,470	168,470	△301,829
当期末残高	810,203	810,203	7,904,557

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月 1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	806,171	△843,270
減価償却費	236,429	308,518
減損損失	40,768	31,665
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△23,260	14,951
賞与引当金の増減額(△は減少)	△212,435	△28,218
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△129	△12
受取利息及び受取配当金	△5,971	△9,362
支払利息	7,767	6,892
為替差損益(△は益)	△4,723	△45,937
固定資産売却損益(△は益)	△929	△2,082
固定資産圧縮損	19,179	1,506
補助金収入	△31,297	△6,538
事業撤退損	43,272	—
株式交付費	1,484	—
売上債権の増減額(△は増加)	132,540	1,146,331
棚卸資産の増減額(△は増加)	628,333	98,841
仕入債務の増減額(△は減少)	23,920	△71,394
その他	△259,792	△60,560
小計	1,401,329	541,331
利息及び配当金の受取額	5,966	9,361
利息の支払額	△7,969	△6,899
補助金の受取額	31,297	6,538
法人税等の支払額	△564,170	△81,336
営業活動によるキャッシュ・フロー	866,454	468,994
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△308,350	△759,250
定期預金の払戻による収入	330,020	535,550
有形固定資産の取得による支出	△687,580	△544,667
有形固定資産の売却による収入	1,000	56,776
その他	△33,809	△469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△698,720	△712,060
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	137,555	△350,000
長期借入金の返済による支出	△16,008	△16,008
自己株式の取得による支出	△197,448	—
その他	△810	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76,711	△366,008
現金及び現金同等物に係る換算差額	67,811	47,208
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	158,834	△561,865
現金及び現金同等物の期首残高	3,683,128	3,841,962
現金及び現金同等物の期末残高	3,841,962	3,280,096

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

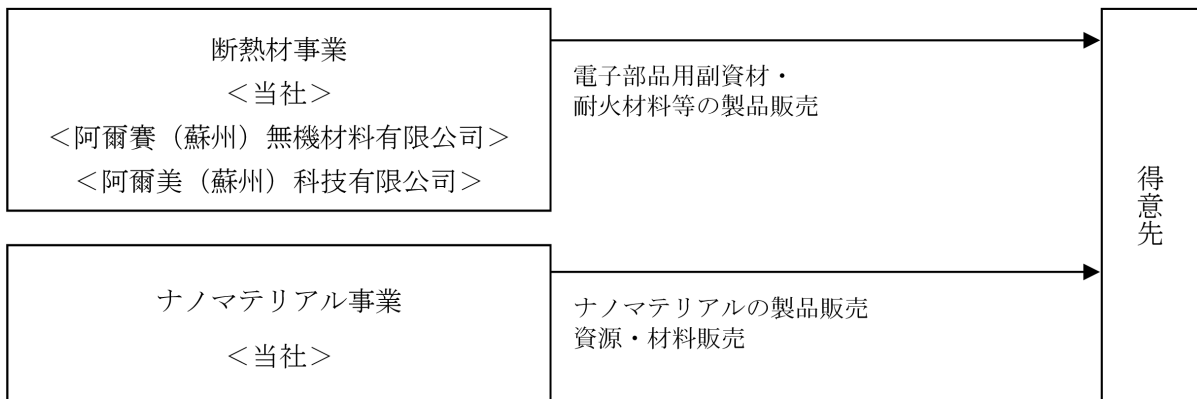
(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、当社及び子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司並びに子会社・阿爾美（蘇州）科技有限公司の計3社で構成されており、電子部品用副資材、耐火材料及び関連製品、ナノマテリアルの製造及び販売、資源・材料販売を行っております。

事業系統図は次のとおりであります。



断熱材事業

連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司及び阿爾美（蘇州）科技有限公司において、電子部品用副資材、耐火材料及び関連製品の開発・製造・販売を行っております。また、当社においても同社製品を中心として輸入・販売を行っております。

ナノマテリアル事業

ナノマテリアルの研究開発・製造及び販売、資源・材料販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	断熱材事業	アーカイブ事業	ナノマテリアル事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,173,643	556,037	71,067	5,800,748
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	5,173,643	556,037	71,067	5,800,748
セグメント利益又は 損失(△)	1,041,946	256,501	△142,250	1,156,197
セグメント資産	6,783,870	25,170	47,045	6,856,085
その他の項目				
減価償却費	234,625	519	1,195	236,340
のれん償却額	—	—	2,000	2,000
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	666,396	—	43,769	710,166

(注) 減価償却費には、長期前払費用の償却費が含まれております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	断熱材事業	ナノマテリアル事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,272,297	100,148	2,372,446
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,272,297	100,148	2,372,446
セグメント損失(△)	△352,389	△142,847	△495,236
セグメント資産	5,853,671	73,244	5,926,915
その他の項目			
減価償却費	301,615	359	301,975
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	490,597	2,583	493,180

(注) 減価償却費には、長期前払費用の償却費が含まれております。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,156,197	△495,236
全社費用(注)	△289,060	△330,405
連結財務諸表の営業利益又は損失(△)	867,137	△825,641

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,856,085	5,926,915
全社資産(注)	2,833,512	2,517,277
連結財務諸表の資産合計	9,689,598	8,444,192

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	236,340	301,975	88	6,543	236,429	308,518
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	710,166	493,180	18,310	37,342	728,477	530,523

5. 報告セグメントの変更等に関する事項

アーカイブ事業は、2024年6月末日をもって光学ドライブ生産及び関連サービスを終了したことに伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを廃止しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月 1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	409.59円	394.53円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	23.07円	△23.47円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月 1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	476,399	△470,300
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	476,399	△470,300
普通株式の期中平均株式数(株)	20,648,970	20,035,579

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当連結会計年度末 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	8,206,387	7,904,557
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,206,387	7,904,557
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	20,035,579	20,035,579

(重要な後発事象)

該当事項はありません。